

JPIC NEWSLETTER

通巻 250 号

2023 年 12 月 15 日

第134回理事会 第85回評議員会を開催

12月5日（火）に第134回理事会および第85回評議員会を出版クラブビルおよびオンライン（Zoom）にて開催し、以下の議案について審議いただきました。

【第1号議案】

2023年度上期事業報告並びに収支報告

【第2号議案】

2023年度下期事業計画について

【報告事項】

- ・賛助会員および書店賛助会員 加入促進について
- ・秋の読書推進月間「BOOK MEETS NEXT」について
- ・「街の本屋さんを元気にして、日本の文化を守る議員連盟」について
- ・資金運用状況報告

各会ともに、すべての議案は満場一致にて承認されました。

日本の優れた出版コンテンツの輸出促進 東京・関西著作権説明会を開催

国内外の出版関係者が一堂に会し、書籍の著作権交渉をおこなう著作権説明会を、11月に東京と京都で開催しました。

東京著作権説明会は3年ぶりの開催 事務局にJPICが加わる

出版社の有志で開催していた東京著作権説明会。コロナ禍で中断していましたが、今年度からJPICが事務局に加わり、11月1日（水）、2日（木）、東京都立産業貿易センター台東館（東京都台東区）を会場に開催しました。

日本からは64社が出展、延べ約200名が参加。海外からは、韓国38社、中国25社、台湾17社のほか、ベトナム、タイ、インドネシア、ドイツ等から計約90社、延べ約180名の出版関係者が来場しました。

日本のコンテンツはアジア圏でニーズが高く

良質なコンテンツを探し出そうとする海外参加者と、自社コンテンツを積極的にアピールする出展社の、熱気あふれる商談が繰り広げられました。さらに懇親会では、各国の出版社やエージェント同士が国際交流を深めました。



東京著作権説明会

初開催の関西著作権説明会 独自コンテンツに注目集まる

関西著作権説明会はBOOK MEETS NEXTのメインイベントKYOTO BOOK SUMMITと連動して、11月9日（木）、平安神宮（京都府京都市）にて開催。おもに大阪や京都を拠点とする20の出版関係社が出展。海外からは韓国、中国、台湾、ベトナムから約20名が参加しました。

対面に加えオンラインでの商談も実施し、関西の魅力あふれるコンテンツをアピールしました。その結果、これまで著作権の海外販売経験がなかった出版社が、海外出版社との直接取引に発展するケースも見られました。



関西著作権説明会

日本の出版コンテンツの海外展開へ 必要とされる著作権説明会

東京国際ブックフェアが中止となった現在、JPICでは著作権販売に関して直接交渉ができる場を継続的に提供することが日本の出版コンテンツの海外輸出促進につながると考えています。

長年、英文翻訳事業や海外寄贈事業をおこなってきた経験をいかし、次年度は規模を拡大しての開催を予定しています。

笑顔と本がもっと広がりますように 本だなプロジェクト2023 本格始動

SDGsの目標のひとつ「質の高い教育をみんなに」の実現に向けて、JPICは2022年度から「本だなプロジェクト」に取り組んでいます。

今年度は6月に出版社を対象にした説明会を開催し、9社が賛同。各出版社が指定した絵本や児童書を最寄りの書店より全施設に届ける予定です。

【協賛出版社】

化学同人、KADOKAWA、金の星社、静山社、世界文化ブックス、竹書房、福音館書店、フレーベル館、ポプラ社（五十音順）

施設募集は8～9月にかけておこない、たくさんのお申し込みがありました。今年度のプロジェクトは30施設の子ども食堂やフリースクールで実施します。

【実施地域】

青森県平川市、秋田県秋田市・大仙市、茨城県那珂市、群馬県みどり市、埼玉県さいたま市・比企郡滑川町、千葉県成田市・浦安市、東京都墨田区・大田区・葛飾区・武蔵村山市、新潟県新潟市、長野県長野市、静岡県静岡市、愛知県丹羽郡大口町、滋賀県彦根市、大阪府大阪市、兵庫県神戸市、鳥取県米子市、島根県松江市・出雲市、広島県広島市・広島県尾道市、香川県高松市、福岡県糸島市、熊本県水俣市、沖縄県那覇市



※実施施設の一覧はJPICホームページに詳細を掲載。左の二次元コードからも確認可能です。

(<https://www.jpic.or.jp/topics/2023/10/23/170000.html>)

各施設が次年度以降も読みきかせを継続できるよう、JPICは動画を制作。おはなし会についてはもちろんのこと、読みきかせに関する著作権についても学習できる内容です。

実施施設の見学も可能ですので、関心のある方は本だなプロジェクト事務局 (hondana@jpig.or.jp) までご連絡ください。



昨年度 本だなプロジェクト実施の様子

『はたちの20冊』完成 採用自治体引き続き募集中

「もっと本を読んでもほしい」「読書の楽しさを知ってもらいたい」と毎年制作をしている冊子『はたちの20冊』。成人年齢が18歳に引き下げられたことを鑑み、今年度からタイトルの20歳をはたちに変更しました。二十歳の集い(旧成人式)だけでなく、高校の卒業式、大学の入学式、卒業式などでも配布してもらおうよう、自治体に呼びかけています。

今回はカモシダセぶんさん、国山ハセンさん、原田ひ香さん、藤崎彩織さん、美村里江さんの5名が各3冊ずつ、選書と執筆をしています。12月現在、宮城県利府町、福島県飯舘村、神奈川県横浜市、福岡県春日市が採用を決定。1月におこなわれる式典で配布予定です。

「本だなプロジェクト」と「はたちの20冊」はSARTRASの助成を受けて実施しています。

BOOK MEETS NEXT 2023については
別紙にまとめて報告いたします。

NEWSについてのお問合せや詳細資料をご希望の方は、事務局までお申し付け下さい。
JPIC HPアドレス：<https://www.jpig.or.jp>
賛助会員様のイベント情報を発信します！